



蒜山高等学校新聞

蒜高タイムズ

第88号

毎月25日発行

H23. 6. 25

蒜山高校 教務課

Tel:66-2016

hiruzen07@pref.okaya
ma.jp

花いっぱい運動 (五月二十六日)

五月二十六日(木)四時から蒜中学生徒会と一緒に花いっぱい運動を行いました。当日はあいにくの雨でしたが、みんな一生懸命植えていました。植えた花は蒜山慶光園にプレゼントしました。また、三時から生活科学コースの二、三年生が千寿荘で利用者の方と一緒に花を植えています。利用者の方にも喜んでいただき、充実した時間となりました。



避難訓練 (五月二十六日)

五月二十六日(木)に避難訓練を行いました。消防署の方の協力により、人体に無害な煙を起こし、その中を避難するという実際の場面に近い訓練でした。生徒たちの状況は「訓練だろう。」という気持ちで、緊張感が欠けた場面が多かったように思いました。消防署の方の講評の後、教頭先生から、新聞記事(二〇一一年五月十九日の山陽新聞朝刊「ちまた」)で語られていたことをもとにお話をさせていただきました。今回の避難訓練に関連する非常に印象深い内容でした。

東日本大震災の後、私たちの毎日の暮らしがどんなに尊いものであるかを改めて感じました。長い人生の中で私たちが大きな災害に絶対に遭遇しないとは言いきれません。もし大変な事態に遭遇したときに適切な対応ができ、自分を守り、かつ他の人をも守ることが出来る

人間になれるよう私たちがみんな意識する必要があります。と思いました。



人権教育講演会 (六月三日)

六月三日(金)二時から、蒜山高校体育館で人権教育講演会が行われました。講師の竹谷和子先生は、AMD Aのボランティアセンターへ参加をされている方です。会場には蒜山高校と教職員のほかに、蒜山中学校の三年生と蒜山地区の方々と保護者の方々も一緒に講演を聴きました。

講演の中で、竹谷先生は東日本大震災の被災地に実際に行ってきた感じたことを述べられました。その内容はメディアから伝わってこないもので、被災地は思っている以上に大変な状況であると考えさせられました。また、DVDで紹介された高校生が被災地のボランティアに参加している映像は、私たちにも何かできることがあると思わせられるものでした。竹谷先生は講演の最後に、「他人に敬意を払い尊重し支え合うことの大切さ、愛情の反対は無関心であり、相手の存在を認めることは大切である」とおっしゃっていました。当日は、蒜山地区の学校関係者、保護者の方々にも参加していただき、大変ありがとうございました。



校内球技大会 (六月十四日)

春季校内球技大会が行われました。どのチームも気迫あふれるプレーで、会場を大いに沸かせてくれました。お互いに声を掛け合って、チームのためにプレーしている姿が印象的でした。このチームワークを三座祭にも生かしてほしいと思います。生徒の皆さんお疲れ様でした。

試合結果

男子		女子	
1位	3A	1位	2年①
2位	2A	2位	2年②
3位	1A	3位	3A



公開授業週間 (五月三十日～六月三日)

五月三十日(月)から六月三日(金)まで公開授業を行いました。保護者の方をはじめ多くの地域の方に御覧いただき、延べ二十七名の方に参加いただきました。誠にありがとうございました。生徒たちの学校での姿を見ていただくことができ、とても嬉しく思っております。次回(十一月)を予定しておりますので、是非ご参加下さい。

7月の予定

- 1日(金)～7日(木)
1学期期末考査
- 7日(木)
お菓子作り講習会
- 19日(火)
1学期終業式
- 20日(水)～29日(金)
夏季補習前期